

# 絆

赤井むつみ後援会便り第63号

笑顔あふれる温かい町に！

2024年3月 発行



## Q1.みんなで防ごう関連死！

冬の災害関連死への対策として、T=トイレ K=キッチン B=ベッド W=暖房がキーワードとされています。是非、八雲町で『トイレトレーラー』『キッチンカー』『ワンタッチ簡易ベッド』を導入しませんか？トイレトレーラーの導入には、災害派遣トイレネットワークに参加し、国の緊急減災・防災事業費を利用すれば7割の軽減負担ができ、残りはふるさと納税型クラウドファンディングの活用で自治体負担はほぼゼロ。更に今、日本版キッチンカーが検討されているそうです。段ボールベッドと共に、収納場所を取らずゴミにもならず、何度でも使える簡易ベッドの導入、さらに同規模自治体との連携協定も必要ではないでしょうか。

### 答 弁

4月に危機管理課ができるので、新庁舎傍に防災公園を置き、そこにトイレトレーラーやキッチンカーを配置し普段も活用しながら、災害時にはうまく活用できるよう十分検討していく。小牧市とは連携協定を結んでいるが渡島・桧山町村会とも連携し、災害訓練も含め災害対策に力を入れていきたい。



## 八雲町が目指す人材育成とは？

八雲町ではこれまでも人材育成のため、国や町のお金を投入して取り組んできましたが、それをどのように総括し、今後持続可能な取り組みにしようとしているのか、八雲町が目指す人材育成とは何か、そのためにどんな環境が必要と考えているのかをお伺いします。

### 答 弁

人材育成・確保事業の成果として、酪農業では研修牧場の設立、商工業においてはまちづくり会社の設立につながったが、全ての課題解決には至らなかった。持続可能な取り組みにするためにも、人材確保が急務。各分野の現状に合わせ、効果的な施策を研究し展開していく。庁舎内の機構改革も、新庁舎になってからと考えていたが、各課の連携等を考えたらそれでは間に合わず、今からやってみようと考えている。人事育成は永遠の課題であるが、民間の力も活用しながら、若い人が勤めたら出来るだけ長く勤め、そして悩みなど気軽に相談できる環境を整えスキルアップも大切だが、それ以上にメンタルが崩れないよう気を付けながら取り組んでいきたい。



人口減少がどんどん進み、どこも人手不足。でも、「ここで生きていきたい！」と思える環境はハード面よりもソフト面が重要。『八雲の人はみんな優しい』という若い人の言葉を大切に！

# 2024年度の予算決定！

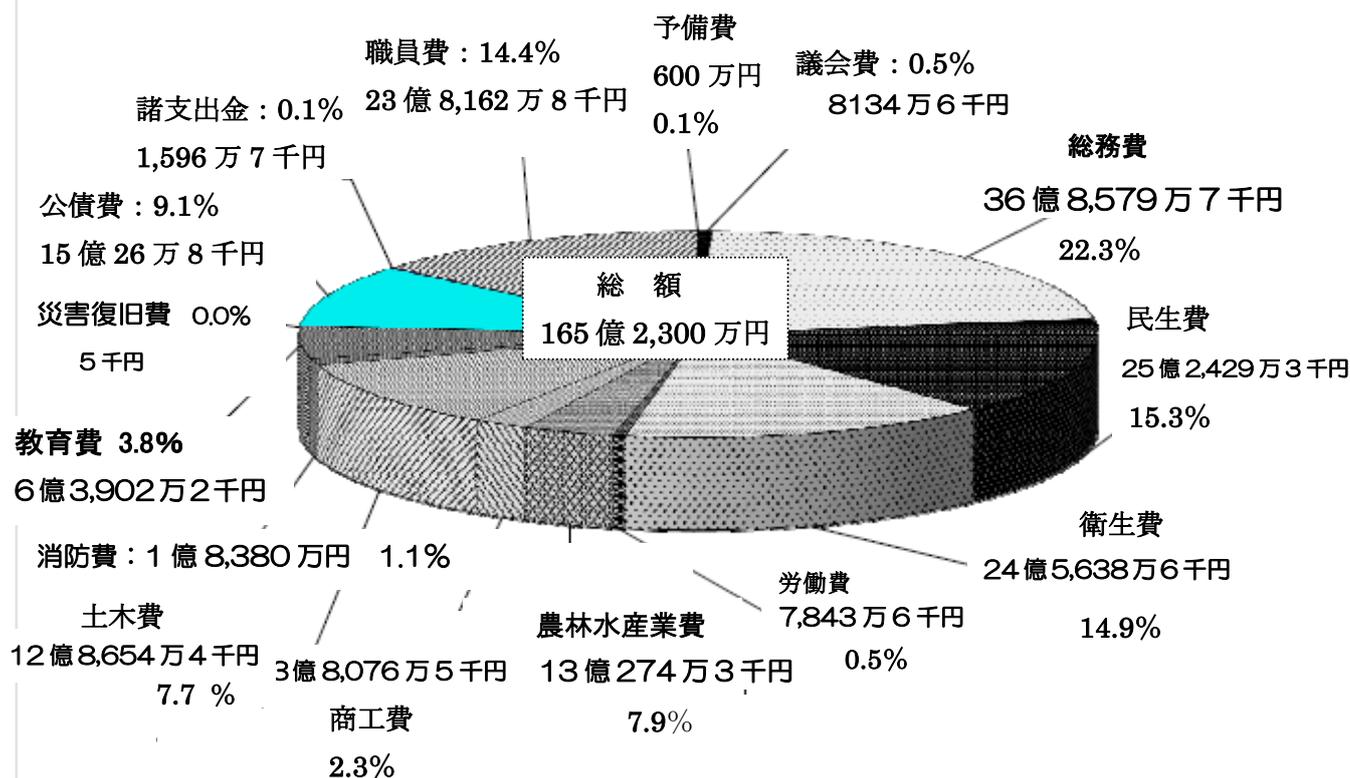
3月の八雲町議会定例会では、予算特別委員会が設置され、2024年度予算について審議し、本会議で下記の通り決定（可決）いたしました。

項目	2024年度予算額	2023年度予算額
一般会計	165億 2,300万円	158億 7,500万円
国民健康保険事業特別会計	24億 3,948万 3千円	26億 7,736万 9千円
後期高齢者医療特別会計	2億 8,907万 6千円	2億 5,258万 8千円
介護保険事業特別会計	21億 4,363万 9千円	20億 5,628万 6千円
熊石地域簡易水道事業特別会計	1億 6,042万 3千円	8,684万 1千円
下水道事業特別会計	12億 2,670万 9千円	11億 8,727万 9千円
農業集落排水事業特別会計	3億 843万 9千円	2億 2,959万 7千円
病院事業会計	96億 9,233万 3千円	80億 9,784万 8千円
水道事業会計	7億 3,151万 9千円	6億 6,647万 8千円
合計	335億 1,462万 1千円	311億 2,928万 6千円

- 前年度比 23億 8,533万 5千円 7.7%の増額となりました。
- 貯金（基金） 140億 3,160万円（2023年度末見込み） 13億 1,192万円増
- 借金（地方債） 127億 7,327万円（2023年度末見込み） 1億 3,190万円減



## 2024年度 一般会計 支出項目





## 主な内容



町民の安心安全、活力ある町を目指しています。  
町民みなさまが、幸せを実感出来ますように！

### ＜一般会計の事業の一部と経費＞

**総務費：前年度より 8 億 5,239 万円増えました (30.1%増)**

- ・新役場庁舎等整備事業：7 億 287 万 3 千円 (解体工事、実施設計業務、旧養護学校改修工事他)
- ・地域会館整備事業：1 億 7,719 万 9 千円 (関内地域会館新築工事、平生活改善センター屋根吹替工事)

**民生費：7,934 万 4 千円増えました (3.2%増)**

- ・児童手当給付事業：1 億 5,092 万 2 千円 (対象：0 歳～中学校終了前)
- ・こども医療費助成事業：6,248 万 8 千円 (高校卒業年度末までの子ども。所得制限無し)

**衛生費：1 億 50 万 5 千円増えました (4.3%増)**

- ・リサイクルセンター修繕事業：1,699 万 5 千円 (缶圧縮機投入コンベア修繕他)
- ・八雲地域ゴミ処理関連業務委託事業：1 億 6,990 万 9 千円 (生ごみ含む塵芥収集業務他)

**労働費：134 万 3 千円減りました (1.7%減)**

- ・U・I ターン就職奨励金事業：2,500 万円 (U・I ターンで雇用された者に奨励金初年度 30 万円)

**農林水産業費：4 億 288 万 7 千円増えました (44.8%増)**

- ・農道・集落道整備事業：6,187 万 5 千円 (安全対策工事：鉛川原野線、音名川線他)
- ・バイオマス利活用施設改修事業：9,027 万 7 千円 (屋根及び防鳥ネット改修他)

**商工費：1,609 万 1 千円増えました (4.4%増)**

- ・中小企業等設備導入支援事業：1,500 万円 (経営の改善に資する設備等導入費用に対する補助 1/2 補助。上限 300 万円以内)
- ・商工振興事業費補助金：1,605 万 7 千円 (八雲商工会経営改善普及事業に対する補助)

**土木費：5 億 3,197 万 9 千円減りました (29.3%減)**

- ・除雪対策費：2 億 4,684 万 4 千円
- ・道路橋長寿命化事業：1 億 2,830 万円 (改修工事 2 橋、設計業務 2 橋、点検業務 27 橋)

**消防費：4,172 万 3 千円増えました (29.4%増)**

- ・消防格納庫整備事業：3,898 万 5 千円 (熊石関内地区消防格納庫新築工事)

**教育費：9 億 5,296 万 8 千円減りました (59.9%減)**

- ・教員住宅整備事業：2,065 万 5 千円 (旧熊石高等学校教員住宅土地及び公宅購入、修繕料等)
- ・スクールバス整備事業：1,612 万 1 千円 (小学校 15 人乗りワゴン、中学校 29 人乗りバス)

**公債費：1 億 5,399 万 4 千円増えました (11.4%増) (これは、借金の返済にかかるお金です)**

**職員費：4 億 9,723 万円増えました (26.4%増)**

2024 年度は一般会計と特別会計、企業会計を合わせて総額 335 億 1,462 万 1 千円の予算となり、昨年より 23 億 8,533 万 5 千円 (7.7%) 増となりました。収入では地方交付税は 0.9% 増の 52 億 331 万 4 千円、町税は 0.6% 減の 19 億 8,687 万 6 千円を見込んでいます。

昨年、新庁舎等建設事業に関わる経費の説明があり、合計約 64 億ということでしたが、今回の予算委員会後の話では材料費と人件費の高騰により、予定していたデザインの庁舎建設は難しくなったとのこと。そこで予算内に収まるようにデザインの変更をお願いするとの説明がありました。議会としては変更になった場合は、町民説明会の開催と町民投票等で、町民皆さまの意見を聞いてほしいと要望しました。今年度は新庁舎の実施設計、旧国保病院の解体、旧養護学校の改修工事、熊石国保病院の建設、新幹線駅の整備に係る事業、関内地域会館の建設、サーモン種苗生産施設整備事業、落部漁業協同組合事務所建設事業など、大きな事業が行われる予定で

# 気になる主な事業

(これからも要チェック!)

## ★サーモン種苗生産施設整備事業：8,537万9千円

熊石サーモン種苗生産施設の拡張に向けた各種調査・設計業務。水利権を申請するために必要との説明を受けましたが、この事業が熊石の産業として持続可能かどうかを、特別委員会としてしっかりと調査・研究を続けていきます。

## ☆関内地域会館新築工事：1億7,332万7千円

地域会館はなくては困ると思いますが、利用率や維持費、10年後の地域の状況等をしっかりと見極めて、質と量の統合も考える時が来たかな?と思います。

## ★ふるさと応援寄附金奨励事業の事務費：2億2,337万6千円

ふるさと納税はいつまで存続するのかという不安もありますが、この事務費を町内で回す方法がないかを模索しています。

## ☆保育人材確保事業：373万8千円

初めての事業。保育士不足の解消に向け、2024年度以降八雲町に採用となった保育士の家賃上限31,000円を5年間助成。この事業により保育士が集まることを願っています。

## ★落部漁業協同組合事務所建設事業：3億1,938万5千円

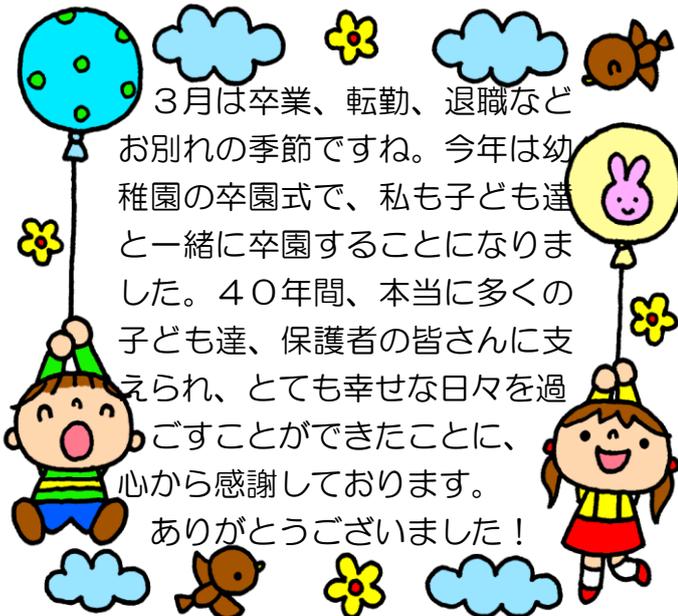
6億6,477万円の漁協事務所建設に対し1/2以内の補助です。初めての取り組みなので今後のことも考えルール作りが必要だと思いましたが、必要ないとの答弁でした。

## ☆災害備蓄品整備事業：206万1千円

能登半島地震でさらに危機感が強まりましたが、備蓄と共に訓練も必要ですし、各家庭でも災害対策をしっかりと準備できるよう、必要な物のリスト作りも大切です。

## ★福祉タクシー事業：919万6千円

年間1万2千円分のチケットが75歳以上の方と障がいのある方に交付されますが、落部や黒岩地区では1往復で無くなってしまうということもあるので、難しいとは思いますが地域間格差の解消も必要ですね。町内循環バス等ができることを期待します。



3月は卒業、転勤、退職などお別れの季節ですね。今年は幼稚園の卒園式で、私も子ども達と一緒に卒園することになりました。40年間、本当に多くの子ども達、保護者の皆さんに支えられ、とても幸せな日々を過ごすことができました。心から感謝しております。ありがとうございました!

今回の議会では、新庁舎実施設計や鉛川観光施設管理費の補正予算について、提案の順序に問題ありということで、本会議を休憩し全員協議会で検討。再度本会議で補正予算は否決、庁舎の実実施設計変更については、町民説明会を行い、出来れば町民投票も行うよう要請しました。もちろん、否決したままではなく、その後の対応も議会として十分に検討します。町有財産の売り買いには透明性と公平性が必要であり、庁舎は町民皆さまの思いと共に作り上げていくべきだと思います。

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

携帯電話=080-5588-2090 (赤井)

赤井自宅 栄町56-12 (3区) 63-2090 (FAX 兼)

メールアドレス [yuurappu@kta.biglobe.ne.jp](mailto:yuurappu@kta.biglobe.ne.jp) HPは『赤井むつみ』で検索を!

